

第3学年 国語科指導案

日時：令和元年 5月29日（水）5校時

場所：清水小学校 3年生教室

授業者：橋本 真里

1 単元名：「言葉で遊ぼう こまを楽しむ」

2 単元の目標

この単元に関わって、学習指導要領には、以下のように、述べられている。

C 読むこと

- (1) ア 段落総合の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。

3 研究内容に関わって

(1) 研究内容Ⅰ「単元を貫く言語活動を位置付けた単元指導計画の工夫」

子どもの出口の姿(評価)を明確にする授業づくり

単元を貫く言語活動を、「自分の好きなこまを説明する文章を書いて交流しよう。」と設定する。これを達成するために以下のことが必要になると考えられる。

- ・説明的な文章の構成を理解すること。
- ・自分の考えを筋道立てて書いたり話したりすること。

そこで、単元のきよみずガエル君を

- ・それぞれの段落には、どのようなことが書かれていたかな。
- ・自分の考えを分かりやすく伝えられたかな。

と設定する。単元のきよみずガエル君を掲示することで自らの学習に見通しをもつことができるようにする。

※単元のきよみずガエル君とは、児童一人一人が、見通しをもって単元を貫く言語活動を達成するために必要な知識・技能・思考を振り返るためのもの。

(2) 研究内容Ⅱ「豊かな表現力を身に付けるための学習過程の工夫」

児童が思考力・判断力・表現力の高まりを自覚するための教師の手立て

① 第3ブロック：振り返り(まとめ)の思考の活性化

- ・深めの発問として「筆者の書き方で気付いたことは何でしょうか。」と問うことで、筆者が書き方を工夫した意図を理解する。

② 第2ブロック：思考を活性化するための言語活動

- ・⑤段落から⑦段落まで「どんなこまか」「どんな楽しみ方か」「こまのとくちょう」について読み取った部分に線を引くことで、筆者の書き方の工夫を比較しやすくする。
- ・文章と絵をつなげることで、より読み手に分かりやすい工夫をしていることに気付く。
- ・キーワードに着目することで、内容理解を深める。

③ 第1ブロック：学習課題をつかむ思考の活性化

- ・②段落から④段落まで学んだ内容を想起し、「中」の前半に書き方の工夫を確認することで、「中」の後半との書き方と比較しやすくする。

※①、②、③の順で学習過程を設定するのは、授業の出口を意識し学習過程を考えることで、授業者自身が児童への働きかけを考える授業づくりのためである。これを本校では、逆向きの授業設計と読んでいる。

4 単元指導計画 第3学年 「言葉で遊ぼう/こまを楽しむ」 全9時間 A：知識及び技能 B：思考力、判断力、表現力等 C：学びに向かう力、人間性等

単元	単元のきよみずガエル君 ・それぞれの段落には、どのようなことが書かれていたかな。・自分の考えを分かりやすく伝えられたかな。				
次	1			2	
時	1	2	3	4	5
ねらい	「言葉で遊ぼう」の全文を読む活動を通して、言葉遊びに興味をもって初発の感想を書き、感想をもつことができる。	「はじめ」と「中」に書かれている内容を読み取る活動を通して、「はじめ」の問いに対する答えが「中」に書かれていることに気づき、説明文の構成を理解することができる。	「終わり」に書かれている内容を読み取る活動を通して、「終わり」には筆者の考えがまとめられていることに気づき、筆者の考えを読み取ることができる。	「こまを楽しむ」を段落やまとまりに分ける活動を通して、「こまを楽しむ」も「言葉で遊ぼう」と同じ構成であることに気づき、「はじめ」に書かれた「問い」の内容を読み取ることができる。	②段落から④段落の内容を読み取る活動を通して、1つの段落に1つのこまの説明が書かれていることに気づき、説明の工夫を考えることができる。
学習活動	1. 課題を設定する。 言葉で遊ぼうを読んで、しょ発の感想を書こう 2. 音読をする。 3. 初発の感想を書き、交流する。 4. 段落や「はじめ」「中」「終わり」について確認する。 「はじめ」に書かれた筆者の問いとは、何だろうか。 5. 単元に関連する本の紹介をする。	1. 課題を設定する。 「はじめ」と「中」に書かれた内容をたしかめ、書き方の工夫を見つけよう 2. 視点を提示し、音読する。 3. 「どんな言葉遊び」「どんな楽しさ」という読み取りの視点を提示し、「はじめ」と「中」について読み取る。 「中」の書き方で筆者が工夫していることは何だろうか。 4. 本時のまとめをする。 「はじめ」は話題、「中」は例が書かれている。①どんな言葉遊び②遊びの説明③どんな楽しさ	1. 課題を設定する。 「終わり」の内容を読み取り、筆者の書き方の工夫を見つけよう 2. 音読をする。 3. 指示語の内容を明確にする。 筆者が伝えたかったことは、何だろうか。 4. 本時のまとめをする。 「おわり」は、まとめが書かれている	1. 課題を設定する。 「はじめ」での、筆者の工夫を見つけよう 2. 音読をする。 3. 段落と「はじめ」「中」「おわり」に分ける。 4. 問いの内容を確認する。 筆者の書き方で気付いたことは何でしょうか。 5. 本時のまとめをする。 読み手に聞くように書いて、きかせる	1. 課題を設定する。 ②から④段落の、筆者の工夫を見つけよう 2. 視点を提示し、音読をする。 3. 「こまの名前」「楽しみ方」という読み取りの視点をもとに②から④段落を読み取る。 筆者の書き方で気付いたことは何でしょうか。 4. 本時のまとめをする。 1段落に1つのこまの説明が書いてある。「問い」の「答え」が書いてある。写真を使って、分かる
評価規準	言葉遊びや昔遊びについて、積極的に相手に伝えることができる。(発言・ノート)【C】	「はじめ」と「中」の役割を、文章表現を根拠に理解することができる。(発言・ノート)【A】	「終わり」の役割をもとに、筆者の考えを読み取ることができる。(発言/ノート)【B】	文章表現に着目しながら、「問い」の内容を読み取ることができる。(発言・ノート)【B】	②段落から④段落を読み取り、一つ一つの段落の役割を理解することができる。(発言・ノート)【A】

並行 読書	まさかサカサマ回文ゲーム ながた みさこ 作 (汐文社) / まんがで学ぶことばあそび 青山 由紀 作 (国土社)	独楽 安藤 正樹 文 (文溪堂) / ちょんかけごま 山本 貞美 文 (文溪堂)
----------	--	---

4 単元指導計画 第3学年 「言葉で遊ぼう/こまを楽しむ」 全9時間 A:知識及び技能 B:思考力, 判断力, 表現力等 C:学びに向かう力, 人間性等

単元	単元のきよみずガエル君 ・それぞれの段落には, どのようなことが書かれていたかな。・自分の考えを分かりやすく伝えられたかな。			
次	2		3	
時	6 (本時)	7	8	9
ねらい	⑤段落から⑦段落の内容を読み取る活動を通して, どの段落も「こまの名前」「楽しみ方」「とくちょう」の順で書かれていることに気づき, 筆者の書き方の工夫について考えることができる。	学習を振り返る活動を通して, 段落やまとまりの意味について確認し, 実際に段落やまとまりを使って自分で説明文を書く題材を見つけることができる。	「中」に書かれた内容をもとに自分が遊んでみたいこまについて書く活動を通して, 「問い」の順で説明すれ読み手が分かりやすいことに気づき, 好きな理由を明確にして書くことができる。	自分が想像したこまを書く活動を通して, どんな説明文も「はじめ」「中」「おわり」を考えて書けば伝わりやすいことに気づき, 段落やまとまりを考えて書くことができる。
学習活動	1. 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">⑤から⑦段落の, 筆者の工夫を見つけよう</div> 2. 視点を提示し, 音読をする。 3. 「こまの名前」「楽しみ方」「とくちょう」という読み取りの視点をもとに⑤段落から⑦段落を読み取る。 4. 交流する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者の書き方で気付いたことは何でしょうか。</div> 5. 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「中」は, どの段落も ①こまの名前 ②楽しみ方 ③とくちょう ／ノート)【B】</div>	1. 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「おわり」での, 筆者の工夫を見つけよう</div> 2. 音読をする。 3. 指示語の内容を確認しながら, 「終わり」の内容を読み取る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者の書き方で気付いたことは何でしょうか。</div> 4. 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">一番伝えたいことを, みじかい文でまとめてみる。</div>	1. 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分のあそびたいこまを「中」をもとに書き, なかまに伝えよう。</div> 2. 筆者の書き方の工夫を振り返る。 3. 自分の遊びたいこまを本文から選んで書く。 4. 交流する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">なかまの話聞いて, 気付いたことは何ですか。</div> 5. 感想を書く。	1. 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分が作りたいこまを「はじめ」「中」「終わり」を考えて書き, なかまに伝えよう。</div> 2. 自分の遊びたいこまを想像して書く。 3. 班で交流する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">なかまの書き方の工夫は何だろうか。</div> 4. 学習の振り返りをする。
評価規準	「中」は, どの段落も ①こまの名前 ②楽しみ方 ③とくちょう ／ノート)【B】	「終わり」の内容を読み取り, 筆者の書き方の工夫を理解することができる。(発言・ノート)【A】	筆者の書き方をもとにして, 自分の遊びたいこまを書くことができる。(ノート)【A】	自分の伝えたいことを「はじめ」「中」「おわり」に分けて書くことができる。(発言・ノート)【B】

並行 読書	伝えよう！わんぱくおてんば子どもの遊び 宮坂 榮一 絵 / なつかしい日本の遊び201 佐藤 加代 画 (角川学芸出版) / 独楽 安藤 正樹 文 (文溪堂) / 凧 茂出気 雅章 文 (文溪堂) / ちょんかけごま 山本 貞美 文 (文溪堂) / 昔の子どものくらし事典 本間 昇 監修 (岩崎書店)
----------	--

5 本時の展開

1 本時のねらい ⑤段落から⑦段落の内容を読み取る活動を通して、どの段落も「こまの名前」「楽しみ方」「とくちょう」の順で書かれていることに気づき、筆者の書き方の工夫について考えることができる。

2 本時の展開

①単元のきよみずガエル君 ・それぞれの段落には、どのようなことが書かれていたかな。・自分の考えを分かりやすく伝えられたかな。

第3ブロック

第2ブロック

第1ブロック

④まぎゆ
「中」は、どの段落も①「こまの名前」②「楽しみ方」③「とくちょう」の順で書かれている。

②深めの発問
筆者の書き方で気付いたことは何でしょうか。

③振り返り(まぎゆ)の思考の活性化
一つの段落に「こまの名前」が書かれている。
絵があると説明が分かりやすい。
①「こまの名前」②「楽しみ方」③「とくちょう」の順で書かれている。

⑤課題
⑤から⑦段落の、筆者の工夫を見つけよう。

⑥思考を活性化するための言語活動
読み取りの視点である「こまの名前」「楽しみ方」「とくちょう」を示す。
⑤段落から⑦段落までを音読する。

⑦前時までの学習の振り返り
「はじめ」には、二つの問いが書かれていた。
②段落から④段落では、「こまの名前」「楽しみ方」「とくちょう」が書かれていた。
一つの段落に「こまの名前」が書かれていた。

⑧学習課題をつかむ思考の活性化
⑤段落から⑦段落の段落も筆者の書き方に工夫があるか予想する。
「中」の続きだから、同じように書かれていると思う。
絵もあると思う。

- ・深めの発問をした後、ペア交流をすることで、自分の考えを伝え合う場面を設定する。
- ・3つの順に説明されていることに、気付いていない児童には、「読み取りのポイントがどの順で書かれているかな」と声をかける。
- ・②段落から④段落も、同じ順で書かれていることを振り返る。

- ・「こまの名前」を四角で囲む。また「楽しみ方」を波線、「とくちょう」を棒線で引くようにする。
- ・「文章と絵をつなげてみよう」と声をかけ、絵が文章の説明を補助していることに気付かせる。
- ・文章全てに線を引いている児童には、「本当に短くするとどこかな」と問い返し、大事な言葉に着目できるようにする。
- ・早くできた児童には、第3次に向けて、自分の思いや考えを書き込むように声をかける。
- ・全体交流の前にペア交流を位置付け、自分の考えを発言する場を設定する。

- ・②段落から④段落までの読み取った内容を国語コーナーに位置付け、考えの手助けや比較ができるようにする。
- ・読み取りの視点を明確にすることで、課題追究の見通しがもてるようにする。

並行読書
伝えよう！わんぱくおてんば子どもの遊び 宮坂 栄一 絵 / なつかしい日本の遊び201 佐藤 加代 画 (角川学芸出版) / 独楽 安藤 正樹 文 (文溪堂) / 凧 茂出氣 雅章 文 (文溪堂) / ちゃんかけごま 山本 貞美 文 (文溪堂) / 昔の子どものくらし事典 本間 昇 監修 (岩崎書店)